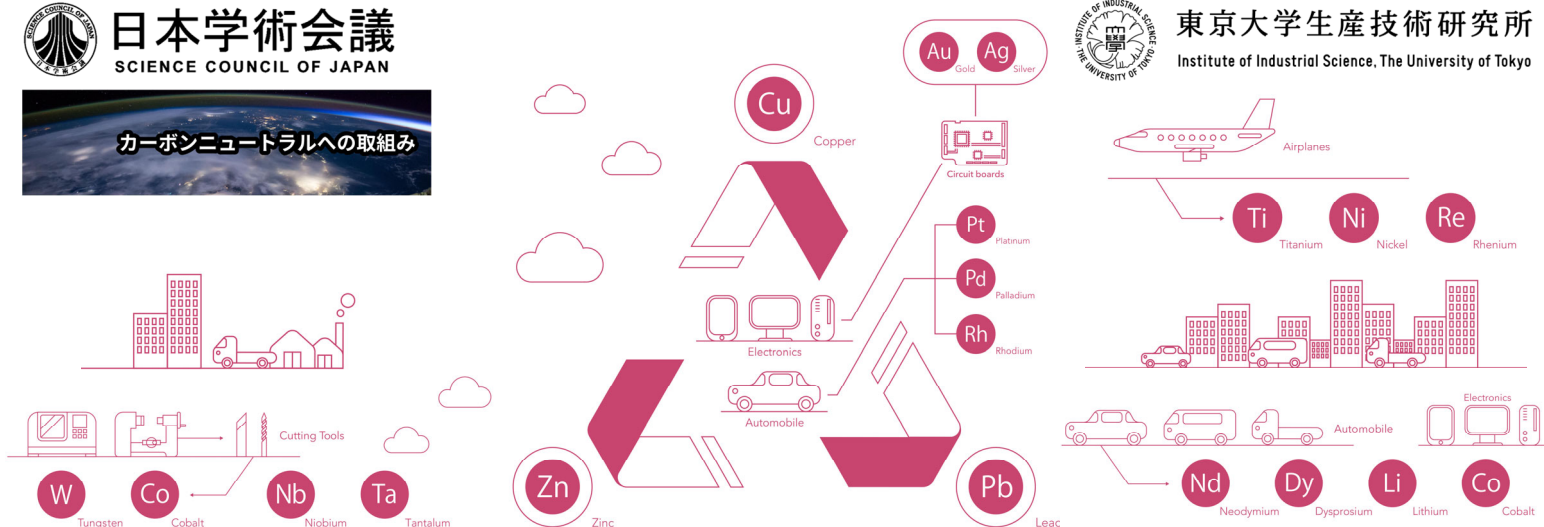




日本学術会議 公開シンポジウム

なぜSDGs？

～資源・材料循環におけるSDGsとカーボンニュートラル～

資源材料循環は、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」に密接に関係している。昨今のカーボンニュートラル政策においても、一層重要視されており、社会システムのにも技術的にも変革が求められている。資源循環に対する課題は物質ごとに大きく異なるが、本シンポジウムでは、特に蓄電池などに使用される金属資源の循環に関して、その現状と課題を俯瞰し、市民と共に理想的な資源材料循環のあり方を議論する場としたい。

日時: 2022/11/18 (金) 14:00～18:00 (開場 13:30) オンライン配信

場所: 東京大学 生産技術研究所 An棟2F コンベンションホール
(新型コロナウイルス感染予防のため、現地参加は講演者とその関係者のみに制限しております。)

主催: 日本学術会議 材料工学委員会・環境学委員会・総合工学委員会合同
SDGsのための資源・材料の循環使用検討分科会

共催: 東京大学 生産技術研究所 非鉄金属資源循環工学寄付研究部門 (JX金属寄付ユニット)、
東京大学 生産技術研究所 持続型材料エネルギーインテグレーション研究センター

14:00 開会の挨拶 岡部 徹 日本学術会議 第三部連携会員、東京大学 生産技術研究所 所長・教授

14:10 講演「法政策からみたサーキュラーエコノミー」
大塚 直 日本学術会議 第一部会員、早稲田大学 教授

15:00 講演「カーボンニュートラルと資源循環の両立の重要性と難しさ」
森口 祐一 日本学術会議 第三部連携会員、国立環境研究所 理事

15:50 講演「蓄電池のサステナビリティ検討に対する取り組み」
武尾 伸隆 経済産業省 電池産業室 室長

17:00 パネルディスカッション
<パネラー> 上記講演者に加え、
森部 昌一 (株)三菱総合研究所 サステナビリティ本部 環境イノベーショングループリーダー
森田 一樹 日本学術会議 第三部連携会員、東京大学 教授
<ファシリテーター> 所 千晴 日本学術会議 第三部会員、早稲田大学・東京大学 教授

17:50 閉会の挨拶 笹木 圭子 日本学術会議 第三部連携会員、九州大学 教授

オンライン配信URL:

- ・Zoomウェビナー: https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_8E3yBo_IQ3uxguNnRLkYZw
- ・YouTube: <https://www.youtube.com/watch?v=ykWv5Vu9XsU>

お問い合わせ: 早稲田大学 教授 所 千晴
tokoro@waseda.jp



Zoom ウェビナー



YouTube



日本学術会議 公開シンポジウム

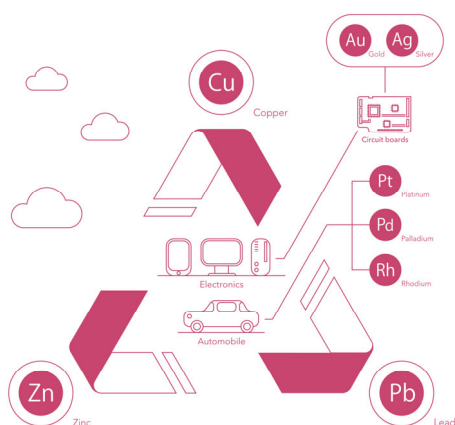


東京大学生産技術研究所

Institute of Industrial Science, The University of Tokyo

主催：日本学術会議 材料工学委員会・環境学委員会・総合工学委員会合同
SDGsのための資源・材料の循環使用検討分科会

なぜSDGs? ～資源・材料循環におけるSDGsとカーボンニュートラル～



講演者



大塚 直
日本学術会議 第一部会員、
早稲田大学 教授



森口 祐一
日本学術会議 第三部連携会員、
国立環境研究所 理事



武尾 伸隆
経済産業省 電池産業室 室長

開会の挨拶



岡部 徹
日本学術会議 第三部連携会員、
東京大学 生産技術研究所
所長・教授

パネラー



森部 昌一
株式会社三菱総合研究所
サステナビリティ本部
環境イノベーショングループリーダー



森田 一樹
日本学術会議 第三部連携会員、
東京大学 教授

ファシリテーター



所 千晴
日本学術会議 第三部会員、
早稲田大学・東京大学 教授

閉会の挨拶



笹木 圭子
日本学術会議 第三部連携会員、
九州大学 教授

日時：2022年11月18日 (金)
14:00～18:00

オンライン配信URL:

- Zoomウェビナー
https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_8E3yBoIQ3uxguNnRLkYZw
- YouTube
<https://www.youtube.com/watch?v=ykWv5Vu9XsU>



日本学術会議 材料工学委員会・環境学委員会・総合工学委員会合同

SDGs のための資源・材料の循環使用検討分科会 主催

なぜ SDGs? ～資源・材料循環における SDGs とカーボンニュートラル～

東京大学 生産技術研究所 コンベンションホール
＋ オンライン配信

■ 日 程： 2022 年 11 月 18 日(金) 14 : 00～18 : 00

■ 開催会場： 東京大学 生産技術研究所 An 棟 2F コンベンションホール
<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/access/> (東京大学生産技術研究所内)
(新型コロナウイルス感染予防のため、現地参加は講演者とその関係者のみに制限しております。)

■ 主 催： 日本学術会議 材料工学委員会・環境学委員会・総合工学委員会合同
SDGs のための資源・材料の循環使用検討分科会

■ 共 催： 東京大学 生産技術研究所 非鉄金属資源循環工学寄付研究部門 (JX 金属寄付ユニット)、東京大学 生産技術研究所 持続型材料エネルギーインテグレーション研究センター

■ 後 援： 東京大学 レアメタル研究会、早稲田大学 持続的環境エネルギー社会共創研究機構、日本鉱業協会、早稲田大学 循環バリューチェーンコンソーシアム、(独) エネルギー・金属鉱物資源機構、(一社) 資源・素材学会、(公社) 化学工学会、(一社) 環境資源工学会、資源地質学会、(公社) 日本金属学会、(一社) 軽金属学会、(公社) 日本化学会、(一社) 日本鉄鋼協会

■ 開催内容： 資源材料循環は、SDGs の目標 12「つくる責任つかう責任」に密接に関係している。昨今のカーボンニュートラル政策においても、一層重要視されており、社会システムの的にも技術的にも変革が求められている。資源循環に対する課題は物質ごとに大きく異なるが、本シンポジウムでは、特に蓄電池などに使用される金属資源の循環に関して、その現状と課題を俯瞰し、市民と共に理想的な資源材料循環のあり方を議論する場としたい。講演や討論会は、オンライン配信を行う。

■ オンライン配信 URL:

Zoom ウェビナー: https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_8E3yBo_IQ3uxguNnRLkYZw

YouTube: <https://www.youtube.com/watch?v=ykWv5Vu9XsU>



Zoom ウェビナー



YouTube

■ プログラム :

司会 : 所 千晴
日本学術会議 第三部会員、早稲田大学・東京大学 教授

14 : 00~

開会の挨拶 : 岡部 徹
日本学術会議 第三部連携会員、東京大学 生産技術研究所 所長・教授

法政策からみたサーキュラーエコノミー (45 分)

大塚 直 日本学術会議 第一部会員、早稲田大学 教授

EU をはじめとしてサーキュラーエコノミーに対する仕組みづくりが先行する中、法政策の立場から日本としてどのような仕組みづくりが求められるのかについてご講演をお願いしている。

カーボンニュートラルと資源循環の両立の重要性と難しさ (45 分)

森口 祐一 日本学術会議 第三部連携会員、国立環境研究所 理事

世界的にカーボンニュートラル政策がすすめられる中、本来、経済成長とはデカップリングすべきである資源消費とこれに伴う環境影響が今以上に増加することが懸念されているが、その考え方と打開策の方向性についてご講演をお願いしている。

蓄電池のサステナビリティ検討に対する取り組み (45 分)

武尾 伸隆 経済産業省 電池産業室 室長

カーボンニュートラルと資源循環の両立に対する重要なデバイスの 1 つである蓄電池に対して、国を中心に検討されているサステナビリティに対する考え方と方向性についてご講演をお願いしている。

17 : 00~

パネルディスカッション

パネラー :

森部 昌一 株式会社三菱総合研究所 サステナビリティ本部
環境イノベーショングループリーダー

森田 一樹 日本学術会議 第三部連携会員、東京大学 教授

ならびに講演者

ファシリテーター : 所 千晴
日本学術会議 第三部会員、早稲田大学・東京大学 教授

17:50~

閉会の挨拶 : 笹木 圭子
日本学術会議 第三部連携会員、九州大学 教授

シンポジウム特設ウェブページ : <https://www.scj.go.jp/ja/event/2022/331-s-1118.html>

問合せ : 早稲田大学 教授 所 千晴
tokoro@waseda.jp

日本学術会議 公開シンポジウム

なぜ SDGs? ～資源・材料循環における SDGs とカーボンニュートラル～

(2022/11/18 (金))

オンライン配信 URL

Zoom ウェビナー : https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_8E3yBo_lQ3uxguNnRLkYZw

YouTube: <https://www.youtube.com/watch?v=ykWv5Vu9XsU>

登壇者一覧／プロフィール

<開会の挨拶>

岡部 徹 (日本学術会議 第三部連携会員、東京大学 生産技術研究所 所長・教授)

<講師>

大塚 直 (日本学術会議 第一部会員、早稲田大学 教授)

森口 祐一 (日本学術会議 第三部連携会員、国立環境研究所 理事)

武尾 伸隆 (経済産業省 電池産業室 室長)

<パネラー>

森部 昌一 (株式会社三菱総合研究所 サステナビリティ本部 環境イノベーショングループリーダー)

森田 一樹 (日本学術会議 第三部連携会員、東京大学 教授)

<ファシリテーター>

所 千晴 (日本学術会議 第三部会員、早稲田大学・東京大学 教授)

<閉会の挨拶>

笹木 圭子 (日本学術会議 第三部連携会員、九州大学 教授)

<開会の挨拶>

岡部 徹

東京大学 生産技術研究所 所長・教授、

同所 持続型材料エネルギーインテグレーション研究センター 教授（兼務）、

同所 非鉄金属資源循環工学寄付研究部門（JX 金属寄付ユニット）特任教授（兼務）、

東京大学大学院 総合文化研究科 附属国際環境学教育機構 教授（兼務）、

東京大学大学院 工学系研究科 課程担当（マテリアル工学専攻）教授

1965 年京都生まれ。京都大学、米国MIT、東北大学を転々とし、2009 年から東京大学生産技術研究所教授。専門分野は、材料化学、環境科学、循環資源工学、レアメタルプロセス工学。35 年以上、一貫してレアメタルの研究に取り組んでいる。“プロセス技術がレアメタルをコモンメタルに変える”ことを夢見て、チタンなどの新製錬技術の開発を行っている。最近は、貴金属、レアアース（希土類金属）、ニオブ、タンタル、レニウムなどのレアメタルの製造プロセスや新規リサイクル技術、環境技術の研究も行っている。

<講師>

大塚 直

早稲田大学 法学部 教授

1981 年東京大学法学部卒業後、直ちに大学法学部助手、カリフォルニア大学バークレイ校ロースクール客員研究員、学習院大学法学部教授を経て、現在、早稲田大学大学院法務研究科・同法学部教授ならびに東京大学大学院法学政治学研究科講師（環境法）。環境法政策学会理事長、環境情報科学センター理事長、中央環境審議会委員、中央環境審議会地球環境部会長、同保健部会長、経済産業省産業構造審議会臨時委員、国土交通省社会資本整備審議会環境部会臨時委員、東京都環境審議会委員などを歴任。

<講師>

森口 祐一

国立環境研究所 理事

京都大学工学部衛生工学科卒業、博士（工学）。国立公害研究所総合解析部研究員、環境庁企画調整局併任、OECD 事務局研修員、国立環境研究所社会環境システム部資源管理研究室長、同循環型社会・廃棄物研究センター長、東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授等を経て、2019 年国立環境研究所理事（現職）。2021 年東京大学退職、同名誉教授。日本学術会議連携会員、UNEP 国際資源パネル元メンバー、日本 LCA 学会前会長、廃棄物資源循環学会元副会長、経済産業省グリーンイノベーション戦略推進会議委員。専門は環境システム学・都市環境工学。

<講師>

武尾 伸隆

経済産業省 電池産業室 室長

昭和 52 年 7 月 19 日生まれ、神奈川県出身。早稲田大学理工学部卒業、同大学院理工学研究科修了。ハーバード大学ケネディ行政大学院修士課程修了。平成 14 年経済産業省入省、産業技術環境局政策企画委員、大臣官房秘書課政策企画委員、新エネルギー・産業技術総合開発機構欧州事務所長等を経て令和 3 年 7 月より経済産業省商務情報政策局情報産業課電池産業室長。令和 4 年 2 月～7 月においては同局情報技術利用促進課長を併任。

<パネラー>

森部 昌一

株式会社三菱総合研究所 サステナビリティ本部 環境イノベーショングループリーダー

2006 年 3 月早稲田大学理工学部機械工学専攻修了。同年 4 月株式会社三菱総合研究所入社。2021 年より同社サステナビリティ本部、環境イノベーショングループリーダー。入社以来、民間事業者、官公庁に対するサーキュラーエコノミー（CE）、資源循環に関するリサーチ・コンサルティング、制度構築・運用支援業務に従事。その他 TCFD、ESG 対応等、サステナブル経営に関するリサーチ・コンサルティング業務に従事。

<パネラー>

森田 一樹

東京大学大学院 工学系研究科 マテリアル工学専攻 教授

（日本学術振興会 製鋼第 19 委員会 委員長、元 日本鉄鋼協会 副会長、元 日本金属学会 副会長）

1960 年大阪生まれ。1988 年東京大学・大学院工学系研究科博士課程修了（工学博士）。その後、同助手・助教授、UCLA 博士研究員を経て、2006 年東京大学生産技術研究所教授。2009～2012 年同サステナブル材料国際研究センター長を歴任し、2013 年より現職。また、2011 年より日本学術会議第三部連携会員。専門は鉄やシリコンを中心とした金属製精錬に関わる高温物理化学である。特に、鉄鋼製精錬プロセスの副生物（スラグ）の有効活用や太陽電池用シリコンの新規精製プロセス開発に関する研究に注力している。

<ファシリテーター>

所 千晴

早稲田大学・東京大学 教授

2003 年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了（博士（工学））。2015 年より早稲田大学教授、2017 年より日本学術会議第三部会員、2021 年よりクロスアポイントメントにて東京大学教授。資源循環のための分離技術、環境対策を専門とする立場から SDGs に関与。2018 年から 2022 年には早稲田大学ダイバーシティ推進室長として、多様性社会の観点からも持続可能な社会のあり方を模索した。東京大学生産技術研究所では非鉄金属資源循環工学寄付研究部門にて、2016 年から特任教授としてアウトリーチ活動を担当。最近は特に、資源循環を実現する革新的な分離技術開発研究に注力している。

<閉会の挨拶>

笹木 圭子

九州大学大学院 工学研究院 教授

北海道大学理学部卒業、博士（工学）取得後、ウオータールー大学地球科学科客員准教授、九州大学大学院工学研究院地球資源システム工学部門助教授、准教授を経て、2010 年 1 月より現職。2010 年 JSPS 最先端・次世代研究開発支援プログラム「ジオミメティクスによる環境材料の創成」などジオミメティクス研究を展開。スタンフォード大学が公表している 2020 年 World Top 2% Scientists に選ばれる。2022 年度資源・素材学会副会長。2019 年より日本学術会議連携会員。
